



2月28日(日)

発行所
広島市中区土橋町7番1号
〒730-8677

中国新聞社

電話(082)236-2111(受付案内台)

ホームページ(中国新聞)②
http://www.chugoku
-np.co.jp/

中山間地域の医師減少 研修先選べる制度導入前と比較

中国地方 総数は増 偏在進む

中国地方5県で、地域間の医師の偏在が進んでいる。若手医師が研修先の医療機関を選べる今の臨床研修制度の導入前の2002年と14年の医師数を比べたところ、総数は1974人増えたが、中山間地域では288人減った。人口減少が進む島や山間部で、住民の健康を支える医療が手薄になりつつある現状が浮き彫りとなった。32面に関連記事。

(湯池尚、明知筆)

厚生労働省が2年ごとに実施している「医師・歯科医師・薬剤師調査」を基に中国新聞が集計した。5県で医療機関に従事する医師の総数は02年の1万7666人から、14年に1万9640人へ増加。一方で、中山間地域の医師数は1994人から1706人に減った。

5県全てで中山間地域の医師は減少した。異別でも減少数が大きかったのは

	2002年	14年	増減
広島県	529	464	-65
山口県	386	340	-46
岡山県	471	397	-74
島根県	489	397	-92
鳥取県	119	108	-11
中国地方5県	1994	1706	-288

島根で92人(減少率18.8%)。次いで、岡山74人(同15.7%)▽広島65人(12.3%)▽山口46人(11.9%)▽鳥取11人(9.2%)だった。

市町村別で最も減ったのは府中市が33人。93人から60人と3割超がいなくなった。次いで、真庭市28人▽雲南市、大田市23人▽備前

市19人▽美祿市、萩市14人1などとなっている。中山間地域は、各県が条例で定めた地域のうち、全域が指定されている59市町村を対象に調べた。

医師が増えたのは比較的大きな都市。724人が増えた広島県では、広島市で507人、福山市で139人増加した。8333人増え

た岡山県では、岡山市が530人、倉敷市339人だった。政令指定都市、中核市以外の三原、下松、益田市などは減少が目立つ。広島国際大医療経営学部

の江原朗教授(医療政策)は「人口が減る地域では、今後も医師の減少が続く恐れがある」と指摘。「1方所の診療所を複数の医師がローテーションで診療したり、県境を越えた広域連携で救急現場を補完したりするなど、限られた資源を有効活用する仕組みづくりを急ぐべきだ」としている。